

まぎらわしい結膜炎

今回は結膜炎についてのお話です。外来診察で判断に困るものに急性のアレルギー性結膜炎と流行り目のウイルス性結膜炎の鑑別診断があります。どちらも自覚症状や炎症所見がつよいとき、わかりにくくなります。

以前は花粉症に代表される急性アレルギー性結膜炎は春の一時期、アデノウイルスによる流行り目の結膜炎は、蒸し暑くなりプールが始まる6、7月に発生、という季節による違いがありました。しかし近年、花粉の飛散期間が長くなり、スギ花粉以外の花粉症も一般的

になったこと、アデノウイルスは流行り目だけでなく風邪の原因ウイルスとしても認知され、二つの結膜炎の発症時期に季節感はなくなりました。

5月は気温の変動が大きく風邪を引きやすいため、ウイルス性結膜炎や

咽頭炎を起こす機会が増えます。花粉も黄砂や

PM2.5と混在しており、つよい日差しを浴びると

急に痒くなったりします。花粉症の対策で、抗ヒスタミン剤をずっと服用し

ている人はドライアイに注意して下さい。目の表面が乾燥すると結膜炎が

起こりやすくなります。

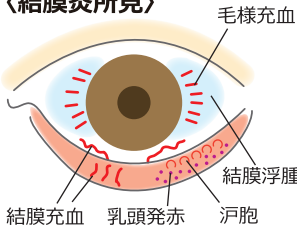
結膜炎の所見を図に示しますが、二つの結膜炎の明らかな違いは少ないのです。

結膜からアレルギーやアデノウイルスの抗体を測定して診断するキットがありますが、100%正しく検出できるとは限りません。

診断は患者さんの話をよく聞き、結膜炎所見と対比しながら、頭を悩ます必要があるそうです。

(院長・伊田 直史)

〈結膜炎所見〉



- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

伊田眼科クリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30							
12:30	○	○	○	○	○		
15:30		手術					
18:30	○						

【休診日】木・土曜午後
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

三田市武庫が丘7-7-4 エムズⅡビル1階 <http://www.ida-ganka.com>

